

事業名	体育協会助成費			調査番号	103
細事業名	県体育協会補助金(境川自転車競技場運営費)	財務コード	163005		
担当部課室	教育委員会 部	スポーツ健康 課	スポーツ企画 担当 (内線)	8406	

## I 事業の概要

実施期間	始期 S45 年度 ~ 終期 年度	
実施主体	補助(公財)県スポーツ協会	
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして
	自転車競技関係者や将来、自転車競技に親しむ県民	優良な練習環境の提供と県民の自転車に親しむ機会の提供
結果、何に結びつけるのか		
自転車競技者の技術力の向上や県民が自転車に親しむことで、自転車競技を主としたスポーツの振興を促進し、県民の体力向上とスポーツ精神の育成を図る		
内容	境川自転車競技場の管理運営費等に対し助成する。 ○ 補助先:(公財)県スポーツ協会 ○ 補助金の概要及び補助対象経費 ・境川自転車競技場の管理運営費及び人件費 ○ 補助率:定額	

## II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31(R1)年度	R2年度	
活動指標	利用者数	目標	7,500	8,500	7,500	8,500	11,000	11,000	11,000
		実績(見込)	8,203	7,244	8,314	10,653	10,960	11,000	
		達成率	109.4%	85.2%	110.9%	125.3%	99.6%	100.0%	
		達成区分	b	b	b	a	b	b	
成果指標		目標							
		実績(見込)							
		達成率							
		達成区分							
決算(予算) 単位:千円		9,848	10,032	9,880	10,403	10,272	10,786	10,328	

## III 事業の評価(平成30年度の業績評価)

活動指標	b	評価	(財)日本自転車競技連盟の公認を得たことによる大会開催なども増え、それに伴う利用者数の増加など、概ね安定的な運営ができていていると考えられる。
成果指標	b		県民が自転車に親しむ機会を提供することで、県民の体力向上とスポーツ精神の育成に結びついている。

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。  
・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

## IV 見直しの必要性(令和2年度に向けた改善等の考え方)

関係与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( )		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	2020オリンピック・パラリンピックの自転車競技開催に伴いイベントの増加が見込まれ、また来年度開催予定の関東高等学校体育大会の開催に向け、よりサービスの水準の向上を図る。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他 ( )		
その他	説明			
見直しの必要性	有	現在、安定的に運営管理ができていますが、利用者数の増、満足度の向上に向けて、業務改善を行っていく余地がある。		

## V 見直しの方向(令和2年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	利用者数の増・利用者満足度の向上に向け、利用者のニーズや要望の把握に努め、補助金支出に係る事務の効率化を図る中で、業務改善を行っていく。
----------	----	--

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。